

意見に流されて少しずつ性的少数者に嫌悪感をいだいていきます。このような人たちが増えていくことにより、社会では性的少数者への差別は当たり前のようになりつつあるのです。

性的少数者に関することで差別されているのは、性的少数者だけではないのです。性的少数者同士の恋愛を好んで見る人たち（腐女子・腐男子など）も性的少数者より軽い差別にあっています。腐女子・腐男子という言葉を見れば分かるように、性的少数者同士の恋愛を好んで見る人たちをあらわす言葉には、「腐」という字が使われています。この腐という字は「腐る」など悪くなる時に使われます。つまり、腐女子・腐男子というのは悪くなっていると言われているようなものなのです。この人たちは、ただ人の恋愛を見ているだけなのににもかかわらず悪く言われるのです。だから、自分の好んでいることを他の人に言うことができず、自分らしく生きられなくなる人も中にはいるようです。

この社会の一般的な考え「恋愛というものは男女でするものだ。」という思い込みは、たくさんの人の自由を奪ってしまいます。性的少数者が自分たちの恋愛、自分たちの生き方を見つけたのなら他人が口をはさむ

コロナ禍の中で、私たちにできること

味野小学校 6年 菊池 衣花

今、新型コロナウイルスが世界に広がっており、毎日たくさんの感染者が出ている状態です。でも、このような状態を作っている原因は、私たち人間だと思います。なぜなら、鼻を出してマスクをしていたり、自粛をしていなかったりする人が多いからです。コロナを甘く見ている人が次々とかかかっていき、その濃厚接触者にも広がっています。コロナ自体も怖いけれど、私がもっと怖いと思うのが、いわゆる「コロナ差別」です。コロナになってしまった人は、なりたくてなっ

けんかから学んだこと

赤崎小学校 6年 安東 風哉

ぼくは「声なきメッセージ」というビデオを見て、友達関係を大事にするのはとても難しいのだと思いました。主人公のマキとイズミはささいなすれ違いから相手を見捨てたり、集団で嫌がらせをしたりして相手

ことはしなくていいと思います。これからより良い未来をつくるためにはそういう人もいるのだと思い、認めることが大切なのだと思います。

現に世界中では徐々に同性婚が認められている中、日本ではまだ同性同士の結婚が法的には認められていません。ただ、渋谷区・世田谷区では認められています。

自分と少し違うからといって、他人を否定するのではなく、性的少数者などのような人たちがいることをしっかり理解して、調べるなどしてよく知ってほしいと思います。しかし、どうしても否定してしまったり、嫌悪感をいだいてしまう人もいます。ですが、そういう人たちは認めなくてもいいから、その嫌悪感をイジメや差別といった形で表さず、心の奥にしまってほしいと思います。今後、誰もが自分の思いや生き方を隠さずに幸せな人生を送れるような世の中になればいいなと僕は強く思います。



てしまったのではありません。コロナを広げたのは人間ですが、そのような人を助けたり、居心地のよい居場所を作ってあげたりできるのも人間だと思います。

一人の幸せな生活を守るためにできることは、たくさんあると思います。私も私にできることを考え、行動していきたいと思います。



を傷つけ、友達関係がくずれてしまいました。ぼくはもっと早くにあやまるべきだったのではないかと思います。

ぼくも今までたくさんけんかをしてしまって、どうやったら仲直りできるかと悩むことがありました。このビデオの二人と同じように、自分が言われたくないことを言われてけんかになったこともあります。仲直

りしたあとにはすれ違いだったと気付きました。でもそのときは、友達と話しにくくなったり、気まずくなったりしていたので、これからいつもみたいに一緒に遊ぶことも話したりすることもできなくなってしまうのかなとなんだか不安になりました。仲のいい友達や家族にどうやったら仲直りできるのか相談したり、自分の行動の悪かったところを振り返ったりして、ぼくはその友達に謝ることにしてみました。そうすると相手も謝ってくれて、仲直りすることができました。きちんと謝ることは大事だと実感しました。

だから、ぼくは



なりたい自分へ

本荘小学校 6年 蓮岡 輝人

ぼくの家族は五人家族で、母と父で働いています。

母は、仕事がない日も、みんなの朝ごはんを作るために朝早くに起きてくれます。その後、弟を幼稚園に送り、仕事のある日は仕事に行き、さらに弟をむかえに行く、などというように、毎日すごくいそがしそうにしています。そのため、ときどきつかれているのか、ねむたそうにしています。でも、いつも明るくみんなを楽しくさせてくれます。その姿を見て、何かぼくにもできることはないかと思い、

「何か手伝おうか？」

と、特にいそがしそうにしている日には声をかけるようにしています。でも、まだお母さん自身がやらないといけないことがあるときも、

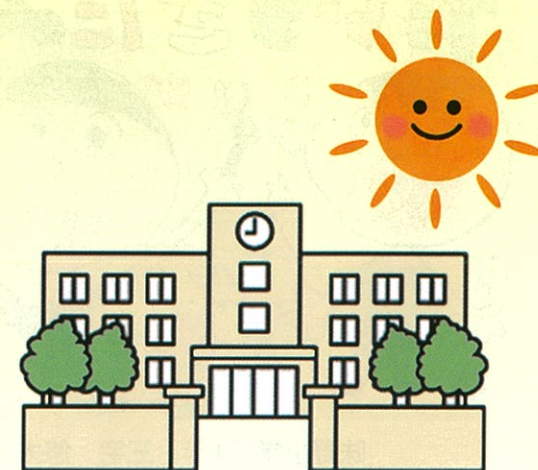
「大じょうぶだよ。自分のことを先にして。」

と言って、自分のことより、ぼくのことをゆう先してくれます。ほかに、お母さんだけが買い物に行き、ぼくが買い物に行かない時などにも、やさしく声をかけてくれます。

「何かいるものある？」

と言って、やさしさが伝わってきます。また、ぼくが、ちょっとした疑問がある時、難しいことなどをしてい

このビデオの二人も早く謝っておけば相手を傷つけることも、ネットでのいじめもなかったのではないかなと思いました。友達とけんかをしたり、イライラしたりすることはこれからもあると思うけど、自分が悪いなと思ったら真っ先に謝り仲直りしたいと思います。そしてこれからはもっと友達を大切にしようと思います。



る時に、すぐにお母さんに聞いたり、手伝ってもらったりしています。ぼくは、お母さんにたよることが多いです。でも、お母さんが人にたよっている所はあまり見ないと感じています。自分のことは自分でやりきる所がすごいと思います。お母さんは、ぼくのことを気づかせてくれるだけでなく、ぼくが友達の家遊びに行くときは、

「おじゃまします。おじゃましました。とか、ちゃんと言いなさいよ。」

「お礼を言って礼儀正しくしなさいよ。」

などと言って、他の人のことも気にかけて、めいわくをかけないようにしています。

このようなことを、いつも心がけているお母さんは、すごいと思いました。だからぼくは、お母さんのような、人にやさしく声をかけ、何を聞かれてもていねいに教えてくれる、礼儀正しく人にお礼を言えるような人になれるようにがんばりたいと思いました。

